

# 「ここがヘンだよ！建設産業」 ～前近代的体質を解消して、4週8閉をめざそう！～

日建協では、誰にとっても働きやすい建設産業を実現するためには女性の視点を採り入れていくことが重要と考え、2009年度より毎年女性技術者会議を行っています。  
今回は【日建協時短アンケート】で建設産業に「魅力を感じない」と答えている方で、女性の理由のトップである「前近代的体質が残っている」を解消することを討議のテーマとし活発な議論が行われました。

## 来賓あいさつ

日建協久保田議長の開会挨拶の後、建設業における女性活躍を進めている、内閣府および国土交通省の方にごあいさつをいただきました。



内閣府 男女共同参画局  
推進課長 田平 浩二 様

国土交通省 土地・建設産業局  
建設市場整備課  
主査 渡邊 広樹 様



## 今回の女性技術者会議は

9回目の開催となる今回は過去最高の40名の参加がありました。  
過去の開催ではグループ討議で、職種が違う場合が多くかみ合わない部分も存在しました。今回は過去の開催よりも参加人数が多かったため、グループ編成が土木・建築別、内外勤別でわけることができ、グループ内での共感が多く得られてより深い議論ができたように感じました。



※日建協加盟20組合38名 加盟組合外2組合（自治労都庁職、長谷工グループ労組）各1名 計40名

## 討議の進め方

討議は下図のように進め、一部の改善策についてはその効果や問題点まで議論を深めることができました。活発な議論がおこなわれ少し時間が足りなく感じた方も多かったようです。



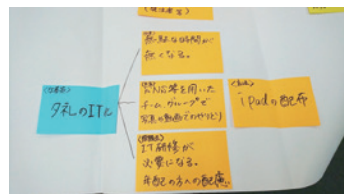
### 討議の前提

担い手の確保のためには建設産業の魅力向上が必要  
しかしながら…  
建設業に魅力を感じない人  
⇒ 全体の40%  
理由は…  
**1位 「前近代的体質が残っている」**  
女性47.8% (全体36.5%)  
**2位 「労働時間が長い」**  
女性33.7% (全体57.2%)  
建設業の「前近代的体質」が時短や土曜閉所の  
阻害要因にもなっているのでは？

そこで!!

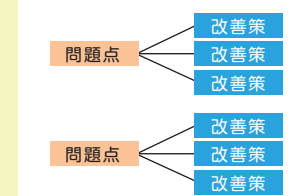
### 討議 1

仕事をしている上で  
・「前近代的だな」  
・「なんかヘンだな」  
という問題点をリストアップする。



### 討議 2

各々について  
改善策を考えてみる。



こんな感じで  
すすめてみました…

## ここってヘンだから変えてみませんか？

討議の中では各々の立場から様々な意見が出ました。ここではすべてを紹介しきれませんが、「ヘンだ」と思ったポイントを一部紹介させていただきます。



ここが  
ヘン!

### 勤務時間について

|                     |                            |
|---------------------|----------------------------|
| 上司が休日に仕事をする         | 19時帰社だと早く感じる…              |
| 残業が当たり前。上司が帰ろうとしない  | 定時は8時30分だが、現場は8時スタートになっている |
| 定時30分前に出勤するように指示される | 勤務時間のフレキシビリティが無い           |
| 効率より労働時間の長さで評価している  | 休む事に理解が少ない                 |

### 改善策

- ★ 勤務時間についての矛盾解消
- ★ 時短に関する制度の導入と利用促進
- ★ 会社行事を時間外に設定しない

### 考察

長年私たちは職場の全員がそろって同じ時間に働くという形態に慣れていますが、そのため「付き合い残業」や「上司がいると帰りづらい」などの意識が生まれてくるのではないかと思います。シフト制やフレックスタイムなど制度としては導入されつつありますが、定着のためには運用上のための解消も必要ではないですか？

ここが  
ヘン!

### 女性特有の問題

|                                        |                              |
|----------------------------------------|------------------------------|
| 「産休を取っている先輩もいるし大丈夫だよ」と言われるが実際には1人しかいない | 女性は転勤しない傾向がある。転勤して様々な経験を積みたい |
| アンケートは無記名でも20代の女性が少ないので特定されそうで書きにくい    |                              |
| 「女性」「女性」って言いすぎ!                        |                              |
| 女性の相談相手がいない                            | 女性目線の意見や発想を過度に求められて困ることがある   |

### 改善策

- ★ 女性の人数を増やす
- ★ 男性上長の意識改革
- ★ 女性としてではなく個人として接する

### 考察

コミュニケーションをとる場合、相手が無意識にカテゴライズする傾向があります。建設業では女性の人数が少ないため女性であると「女性」とだけカテゴライズされることが多いと思います。人それぞれ個性がありそれを認め合うことがより良いコミュニケーションにつながるのではないのでしょうか。何でも「男だから」と言われたらイヤじゃないですか？

ここが  
ヘン!

### お酒系

|                                      |                                         |
|--------------------------------------|-----------------------------------------|
| 断ってもいい雰囲気がない                         | 飲みニケーションをやけに重要視している                     |
| なぜか部長クラスの人作業所に来ると、夕方に飲み会が始まって連れていかれる | 会議と飲み会がセットになっていて断ることができない。そのうえ片づけをさせられる |
| ビールを飲みながら仕事をする                       | 飲み会は残業が理由で断るなどと言われる                     |

### 改善策

- ★ 事務所にお酒を置かない
- ★ 業務でないことをはっきりさせる
- ★ 断れる雰囲気を醸成する

### 考察

今回の討議では、お酒にまつわる指摘が一番多くありました。世代により飲酒の習慣が変化してきており、そもそも「習慣的に飲酒する」という比率は低くなってきているという話も聞きます。苦痛を感じる人もいるということを理解しないといけません。職場で習慣的にお酒を飲むことって他の産業であります？

## 最後に

日建協の調査では、女性技術者が配員されている作業所は全体の12.2%、人数ベースでは2.7%という結果が出ています。増加傾向にはありますが、作業所での女性比率はまだまだ低いのが現状です。  
女性活躍を推進することが、多種多様な人材を得られる魅力ある建設産業へとつながっていくとわたしたちは考えます。いきいきと長く働ける産業にするために、ここがヘンだという所を少しずつ改善していきましょう。

※ 調査結果：2017年10月実施 日建協「作業所アンケート」